

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年3月19日

計画の名称	26 避難体制を強化する道路整備による事前防災対策（原発避難路、桜島火山対策）							重点計画の該当				
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）			交付対象	鹿児島県							
計画の目標	川内原子力発電所や桜島火山噴火等に係る事前防災対策による道路の整備を推進し、避難経路であるICや避難港へのアクセス強化等を図り、緊急時の際の速やかな避難体制等を確立するとともに、安心・安全な地域社会の形成を図る。											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 避難道路の走行時間短縮率を3.5%（H28末2.4%）向上させる。 											
定量的指標の定義及び算定式	道路整備により走行速度向上による、走行時間の短縮率を算出する。 $\text{走行時間短縮率（\%）} = \frac{\text{道路改良により短縮された時間（h）}}{\text{現在の走行時間（h）}}$			定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H26当初） 中間目標値（H28末） 最終目標値（H30末）			備考					
				0%	2.4%	3.5%	・鹿児島県地域強靱化計画に基づき実施される要素事業 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-6, A-8 ・薩摩川内市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業 A-5, A-6, A-11 ・大隅定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業 A-8, A-9					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,401百万円	A	4,401百万円	B	0百万円	C	百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
鹿児島県土木部にて事後評価を実施	整備計画期間終了後
	公表の方法
	県ホームページにて公表

1. 交付金対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
26-A-1	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 桜島港黒神線 宇土工区	バイパス L= 0.9km	鹿児島市					105		
26-A-2	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 桜島港黒神線 西道工区	現道拡幅 L= 0.5km	鹿児島市					0		
26-A-3	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 桜島港黒神線 武工区	現道拡幅 L= 0.9km	鹿児島市					0		
26-A-4	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 川内串木野線 荒川工区	バイパス L= 1.4km	いちき串木野市					50	H27:P14へ移行	
26-A-5	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 川内串木野線 宮里工区	現道拡幅 L= 0.6km	薩摩川内市					247		
26-A-6	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 川内串木野線 高江長崎工区	現道拡幅 L= 3.1km	薩摩川内市					368		
26-A-7	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 垂水大崎線 牛根上工区	現道拡幅 L= 0.7km	垂水市					197		
26-A-8	道路	一般	鹿児島県	直接	—	国道	改築	(国) 269号 伊座敷バイパス	バイパス L= 2.9km	南大隅町					3,243	H27:P17から移行	
26-A-9	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 辺塚根占線 横別府工区	現道拡幅 L= 1.8km	南大隅町					121	H29:新規	
26-A-10	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 脇本赤瀬川線 橋之浦工区	現道拡幅 L= 0.7km	阿久根市					0	H30:P28から移行	
26-A-11	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 百次木場茶屋線 川永野工区	現道拡幅 L= 1.3km	薩摩川内市					50	H30:P28から移行	
26-A-12	道路	一般	鹿児島県	直接	—	国道	交安	(国) 504号 紫尾道路	安全施設 L= 3.4km	出水市					20	H30:P28から移行	
26-A-13	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 鶴田大口線 大鶴湖工区	現道拡幅 L= 7.1km	薩摩郡さつま町					0	H30:P60から移行	
26-A-14	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 鶴田大口線 曾木2工区	現道拡幅 L= 3.6km	伊佐市					0	H30:P60から移行	
26-A-15	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 木場吉松えびの線 北方工区	現道拡幅 L= 4.3km	始良郡湧水町					0	H30:P60から移行	

26-A-16	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 水俣出水線 日当工区	現道拡幅 L= 0.3km	出水市						0	
26-A-17	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 垂水大崎線 下平房工区	現道拡幅 L= 1.1km	鹿屋市						0	H30:新規
合計															4,401		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
合計															0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
合計															0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
合計															0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付金事業の効果の発現状況		・ 供用延長が当初の目標を上回ったため、最終目標値を達成し、避難道路の走行時間を3.9%短縮することができた。															
II 定量的指標の達成状況	指標① (走行時間の短縮)	最終目標値	3.5%	目標値と実績値 に差が出た要因	宮里工区において、一部の区間を当初の予定より早く供用開始できたため。												
		最終実績値	3.9%														
	指標②	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因													
		最終実績値															
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																	

3. 特記事項 (今後の方針等)

計画期間内に完了しなかった事業については、引き続き事業を推進し早期効果の発現を目指す。

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	26 避難体制を強化する道路整備による事前防災対策（原発避難路、桜島火山対策）		交付対象	鹿児島県
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）			

